

経営比較分析表（平成28年度決算）

宮城県丸森町 丸森町国民健康保険丸森病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ドI	救 臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
14,244	6,360	第2種該当	13:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

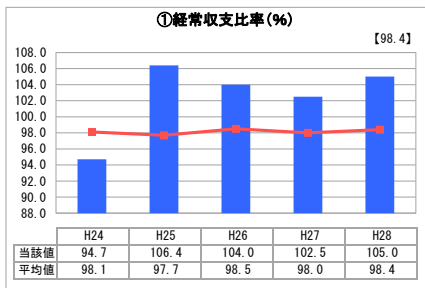
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
55	35	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	90
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
55	35	90

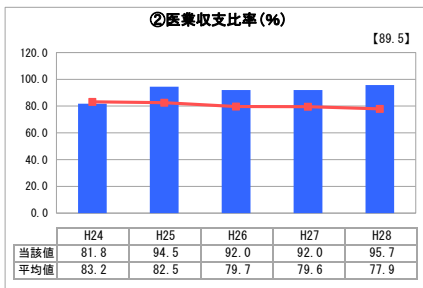
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

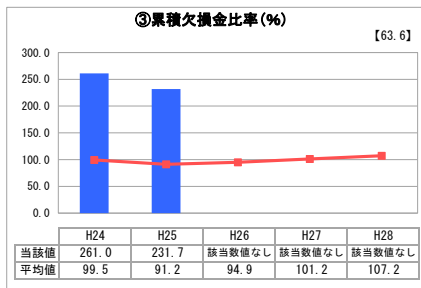
1. 経営の健全性・効率性



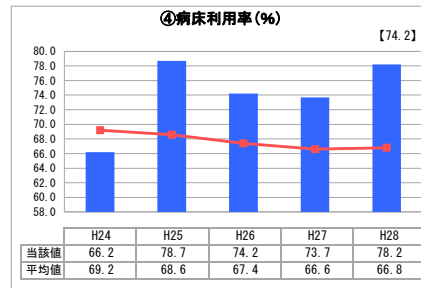
「経常損益」



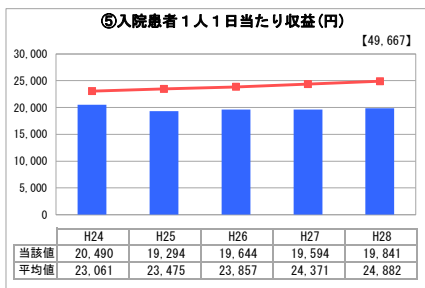
「医業損益」



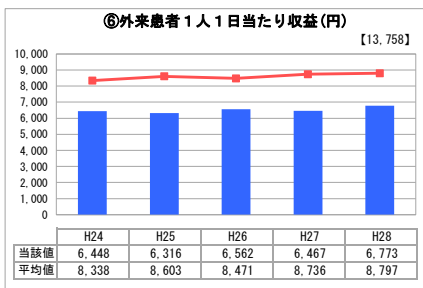
「累積欠損」



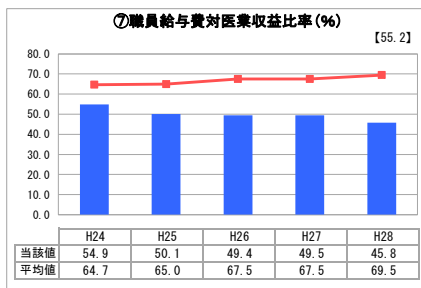
「施設の効率性」



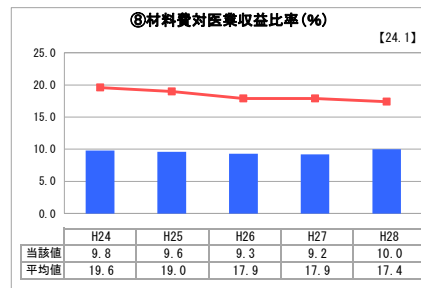
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

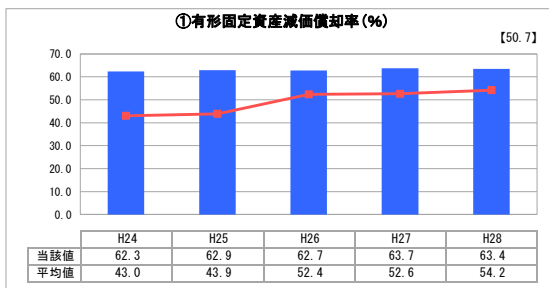


「費用の効率性①」

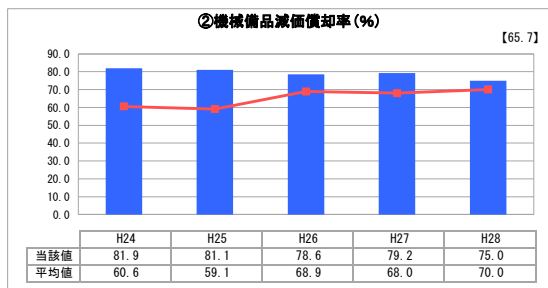


「費用の効率性②」

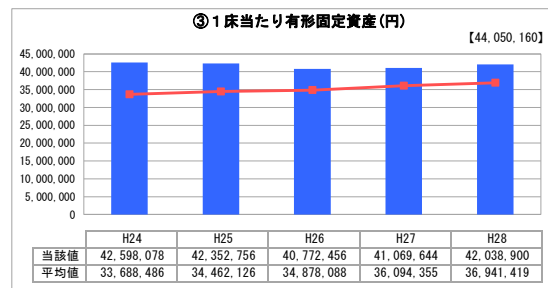
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

町内唯一の一次医療を担う基幹的な医療機関として、保健・医療・福祉の連携を図りながら、町民の生命と健康を守るため、良質な医療を安定的に提供するとともに、各種健診・健康づくり事業などの疾病予防、介護予防に積極的に取り組み、地域の医療水準の向上に貢献する。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当院は、累積欠損金がなく、各種経営指標を見ると、健全性があり、かつ効率性があると判断できる。

具体的には、第1に、通常の病院活動による収益状況を示す経常収支比率が、ここ数年、利益の分岐点である100%を超えていること。第2に、病院の本業である医療活動から生じる医療費用に対する医業収益の割合を示す医業収支比率も、ここ数年92%を超え、かつ全国平均を上回っていること。第3に、職員給与費対医業収益率は、年々減少傾向にあり、平成28年度は45.8%である。この指標が低いということは、人件費以外の支出に充てることができ、弾力的な病院経営ができていくこと。第4に、直近4年間の平均病床利用率は、76.2%と、全国平均を上回っていること。などである。

2. 老朽化の状況について

病院建物本体は築20年であり法定耐用年数内にあるものの、本体と一体となっている空調や電気、電話などの機械・設備などは、法定耐用年数を経過している。

また、医療用機械備品については、必要に応じて更新しているものの、すべて対応しきれず、法定耐用年数を経過しているものが多い状況にある。このようなことから、データが示しているとおり、機械備品の減価償却率は75%になっているが、建物本体の未償却分が多いことから、施設全体での減価償却率は63.4%と少し低くなっている。

しかしながら、施設全体での償却率が60%を超えていること、全国平均を上回っていることから、有形固定資産の状況は、総じて老朽化が進んでいるといえる。

全体総括

上記のことから、現時点での経営については、健全性及び効率性はあるものの、施設全体の老朽化が進んでいることから、今後、建物全体の機械設備の大規模改修や医療機器の定期的な更新などを考慮すると、経営を脅かす多額の経費支出が予想されるので、その財源の確保が最大の課題となる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。